

## 令和7年度大雪山国立公園連絡協議会幹事会 議事概要

- 日 時：令和7年5月9日（金）14:00～15:10
- 場 所：上川町役場大会議室(Web 会議システム併用)
- 出席者：出席者名簿参照（会場出席 14 団体、Web 会議室 19 団体）

### ■概 要

1. 開会 協議会会長西木上川町長より挨拶

### 2. 議事

#### (1) 審議事項

##### 1) 令和6年度事業報告

事務局・友野より資料1について説明

##### 2) 令和6年度会計報告

事務局・高橋より資料2について説明

##### 3) 令和6年度会計監査報告

美瑛町赤間課長・鹿追町大西課長より、資料3についてそれぞれ代理で報告

・質疑での意見等なし、資料内容の通りにて承認。

##### 4) 令和7年度事業計画（案）

事務局・友野より資料4について説明

##### 5) 令和7年度収支予算（案）

事務局・高橋より資料5にについて説明

#### <質疑>

- ・登山道維持管理部会のコーディネーターについて予算上の配慮をいただき感謝。  
事業計画案1.（1）のフォーラムについて、外向けの活動はこれまでも実施しており今後も実施していくことが大事なのもよく分かるが、協議会の中でビジョンに対する考え方や見方の違いが大きいと思う。その1つが登山道管理であり、現状理解や何を指そうとしているのかが相当違う状態で続けていくことにどれだけの意味があるのかと思うし、現状維持するだけならそもそも議論は要らないが今のやり方ではビジョンの達成なんて絶対にできない。大雪山ビジョンの下に登山道ビジョンのようなものが本当は必要で、30年、50年後の将来はこうあるべきという姿を皆で議論した上で進められるよう、その時間をぜひ設けていただきたい。目先のことを追っているだけでは、大切な国立公園のゴール、ビジョンの達成には全く行けないと思うのでぜひよろしくお願ひしたい。（北大・渡辺名誉教授）
- ・ビジョン達成に向けての目標設定や認識共有が進んでいないことは仰る通りであり、登山道に関しては部会での作業は進めてきているが、課題のポイントやそこに向けた取組事項の整理には至っていないのが現状。今年度も2回の部会開催を予定しているが、なるべく早めにポイントをまとめて部会で取り組んでいけるようにしたいと強く認識している。一方でビジョン展開事業では毎年広報に関する事業を行ってきており、当国立公園も非常に範囲が広く様々な地域や課題が存在する中で、登山道のことも含めて各地域のことを扱っていく広報の事業は毎年続けていきたいということで本計画案としている。（事務局・友野）

- ・以上を踏まえ、資料内容の通りにて承認。

#### 6) 協議会規約の改定（構成員の追加について）

事務局・高橋より資料6に沿って説明

質疑での意見等なし、資料内容の通りにて承認。

<新構成員より挨拶>（大雪カムイミンタラDMO・若松部長）

- ・当法人は稼げる地域づくりを目指して、旭川市長を筆頭に各町長を理事に、銀行3行も理事者になっていただくといった構成で運営。

国立公園で何ができるのかと言われるかも知れないが、縦走 PASS のようにもっと大雪山国立公園を利用していただける取組であったり、また女性目線でトイレ問題の改善にもなるようなポンチョの開発を、昨年度に関係機関や企業と一緒にいった。（会場内で製品のサンプルを紹介。）今夏頃から販売を開始し、地元で取扱いただく店舗さんの収入を確保しつつ、1着あたり1000円を登山道整備やトイレ問題の解決に向けた基金として当社から出していく予定。販促や情報発信はメーカーのChumsさんやリクルートさんに協力いただいております、今後継続して取り組んでいけるようにしたい。

直接我々ではないが、旭川空港のキーホルダーも、登山道整備やトイレ問題に対して売上の一部を寄付したいと考えて観光関係団体が協議して作った商品となっている。

このように、エリア全体で少しでも原資を稼げるような取組の一部を担っていければと思っています。

#### 7) 登山道維持管理部会規約の改定（構成員の追加及び削除）について

事務局・永田より資料7に沿って説明

質疑での意見等なし、資料内容の通りにて承認。

<新構成員より挨拶>（福山市立大学・澤田教授）

- ・普段は東大雪周辺で永久凍土の調査やナキウサギ生息地の保護、それから登山道管理上の様々な調査に関わっている。これからよろしくお願ひしたい。

### (2) 報告事項

#### 1) 各構成員からの情報提供、情報交換について

- ・環境省大雪山国立公園管理事務所・友野より資料8、北海道上川総合振興局中島主査より資料9について説明、紹介

#### 2) その他（意見）

- ・開発されたポンチョは、山にトイレを置くのは場所をどこにするかや管理がとても大変だという議論がされていた中で、やはり女性はトイレがあった方がいいということを考えて若松さんに伝えたら、皆の山を愛する気持ちで本当に実現できたのが良かった。これからも皆で山を守っていけるとよい。（かみふらの十勝岳観光協会・青野会長）

### 3. その他 特になし

### 4. 閉会 環境省北海道地方環境事務所山本所長より挨拶

以上